

中村小図書館だより

令和5年10月号
多古町学校司書



さわやかな風がふき、活動しやすい季節になってきました。秋休みには町民大運動会が開催され、スポーツを楽しむ人もたくさんいるでしょう。図書室にもスポーツに関するいろいろな本があります。本の中の「スポーツの秋」も楽しんでみませんか？



10月9日(10月の第2月曜日)は **スポーツの日**

体を動かして、元気な心と体を作ろう！という日です。



『おれ、よびだしになる』

中川ひろたか

アリス館

小さいころから相撲が好きだったぼくは、中学を卒業すると「よびだし」になった。よびあげ、太鼓、土俵づくりなどを先輩に教えてもらい、ぼくの初土俵の日がやってきて……。

『世界のスポーツ ルールと歴史』

アダム・スキナー (文)

徳間書店

ラグビーは、サッカーボールをもって走ったことが起源ってほんとう？レーンが116もある世界最大のボウリング場はどこにある？60以上の世界のスポーツを取り上げ、かんたんなルール、起源や歴史、おもしろいエピソードをイラストとともに紹介。

『5番レーン』

ウン・ソホル (作)

すんみ (訳)

すすき出版

カン・ナルは小学校水泳部のエース。しかし最近ライバルのチョヒに負け続け、悩むと同時に、姉のボドゥルが競泳をやめて飛込に種目を変えたことに疑問を抱いた……。

『レジェンド!』

城島 充

講談社

下川ジャンプ少年団からは、なぜ多くの名選手が育っていくのか。ソチ五輪で「レジェンド=伝説」となった葛西紀明選手と、北海道下川町の子どもたちのがんばりを描いた感動作。



絵本で学ぼう!SDGs



SDGsの目標4 質の高い教育をみんなに

日本では子供が学校で学ぶことが当たり前になっていますが、世界に目を向けると教育を受けられない子供がたくさんいます。どうして学校に行かれない子供がいるのでしょうか。

『すごいね!みんなの通学路』

ローズマリー・マカーニー (文)

西田佳子 (訳)

西村書店

世界中の子供たちはどうやって通学しているの？自分の机や飲み水を入れた、たらいを持っていく子、川や山道やがけを越えていく子……。学校に通う子供たちの姿を紹介する写真絵本。

10月27日～11月9日は読書週間です。



読書週間ののはじまりは？
終戦2年後の1947年に「読書の力によって平和な文化国家をつくらう」という決意のもとに、たくさんの人々の力で、第1回読書週間が開催されました。

【今年の標語】私のペースでしおりは進む

◆ 本でコミュニケーション ◆

☆おすすめの本☆ (先生のおすすめ)

『リバウンド』 E・ウォルターズ (作) 福音館書店

カナダのある町に住むショーンとデーヴィット。デーヴィットは転校生で、事故にあって両足が動かなくなり、車椅子に乗っています。ふたりはバスケットボールをとおしてお互いを知り、新たな一歩を踏み出すまでが描かれます。バスケット好きな人、車椅子バスケットに興味がある人、ぜひ読んでみてください。

